



親と子の健康づくり 場所・岡飯岡保健センター(☎57-3113)

種 別	期 日	受付時間	対象・内容
健康 診査	乳児健康診査	2月 1日(金)	平成30年 9月20日～10月11日生
		2月25日(月)	平成30年10月12日～31日生
	1歳6か月児健康診査	2月 6日(水)	平成29年 7月 4日～21日生
		2月13日(水)	平成29年 7月22日～ 8月10日生
	2歳児歯科健康診査	2月 7日(木)	平成28年 7月31日～ 8月23日生
		2月21日(木)	平成28年 8月24日～ 9月 6日生
	3歳児健康診査	2月15日(金)	平成27年 8月 4日～20日生
相談	母乳相談 ※申込制	2月19日(火)	助産師の講話、授乳方法の指導など
	育児相談	2月19日(火)	乳幼児の発育確認、言葉、食事、歯などの相談
教室	離乳食教室 ※申込制	2月 8日(金)	平成30年9月～10月生 内容：離乳食の進め方(講話、調理実習)
	子育て学級	2月22日(金)	平成30年11月1日～平成31年1月10日生まれの第1子と保護者 内容：ベビーマッサージや育児の情報交換など
	両親学級	2月 5日(火)	妊娠中の過ごし方と注意点、お口と歯の健康、栄養(調理実習)
		2月22日(金)	お産の経過と呼吸法、赤ちゃん抱っこ体験など



健康インフォメーション

あさひ健康応援ポイント応募期限迫る

健康づくりを実践しながら500ポイントをためると、抽選で健康に役立つ品が当たります。

対象／市内在住の20歳以上の人 ※2月28日(木)までに20歳になる人を含む。

期間／平成30年3月1日(木)～2月28日(木)

応募期限／3月5日(火)

応募方法／500ポイントたまったら、専用の応募箱に投函するか郵送、ファクスで応募してください。

応募用紙・応募箱設置場所／市役所本庁、旭市保健センター、飯岡保健センター、海上健康増進センター、干潟公民館ほか

☎☎☎ 289-2504 旭市二の2787番地1 健康管理課庶務企画班(☎63-8766・FAX64-1618)

献血に協力を！

期 日	場所・受付時間
2月13日(水)	旭市保健センター 10:00～11:45 13:00～15:45



※献血カードを持っている人は持参してください。

☎健康管理課庶務企画班(☎63-8766)



予防接種 岡旭市保健センター(☎63-8766)

【集団接種】 場所：旭市保健センター

種 別	期 日	受付時間	対 象
BCG	2月20日(水)	13:15～13:45	生後12か月未満

【定期個別接種】 場所：各指定医療機関

種 別	対 象
ヒブ	生後2～60か月未満
小児用肺炎球菌	生後2～60か月未満
四種混合、ポリオ	生後3～90か月未満
水痘	生後12～36か月未満
麻しん・風しん混合	1期：生後12～24か月未満 2期：平成24年4月2日～25年4月1日生
日本脳炎	1期：生後6～90か月未満 2期：9～13歳未満 特例対象：平成19年4月1日以前生まれの20歳未満で、接種していない人
B型肝炎	生後12か月未満
高齢者肺炎球菌	65歳・70歳・75歳・80歳・85歳・90歳・95歳・100歳の人、60～64歳で心臓などに障害のある人 ※平成30年4月2日(月)～4月1日(月)に対象年齢になる未接種者に3,000円を助成(助成は1回限り)。助成期間は3月31日(日)までです。



健康ワンポイントアドバイス

一人の一步が命をつなぐ
献血が持つ力

わずか40分で救える命

血液は栄養や酸素の運搬、免疫など、人間の生命を維持するために不可欠なものです。輸血は欠かすことができない治療法で、血液を医療機関に安定的に届けるためには、絶えず誰かの献血が必要です。

献血にかかる時間は約40分。そのわずかな時間で救える大切な命があります。

献血の種類

献血には血液中の全ての成分を採血する全血献血(400ml・200ml)と、特定の成分だけ採血する成分献血があります。

全血献血のうち、200ml献血は16歳以上、400ml献血は男性が17歳以上、女性は18歳以上で体重が50kg以上の人がすることができます。

血液は足りている？

国内で1日当たり、約3,000人が輸血を受けているといわれています。献血者数は季節によって変動する

ため、一時的に血液が不足することや血液型が偏ることがあります。冬から春先にかけては、風邪で体調を崩す人が多いなど、特に献血者が減少します。

献血している人の多くは50歳未満の人ですが、その中で若い人の献血者数が減少しています。献血者が減少する季節を迎え、特に若い人は積極的に献血しましょう。

薬を服用していると献血できないの？

病気の種類や、薬の種類によって献血をできない場合があります。ビタミン剤やごく一般的な胃腸薬などは支障はありません。医師が薬の種類だけでなく、献血者の体調、服薬の目的、症状などを総合的に考慮して、献血をできるかどうかの最終的な判断を行います。外用薬、座薬、点眼・点鼻薬などについても、医師の判断で献血できない場合があります。

くわしい内容は、千葉県赤十字血液センターのホームページ(<https://www.bs.jrc.or.jp/kts/chiba/>)で見ることができます。

【千葉県赤十字血液センター】

旭中央病院便り vol. 78

<http://www.hospital.asahi.chiba.jp/>

岡旭中央病院(☎63-8111・代表)

地域と病院をつなぐ広報誌
「こんにちは」冬号を発行しました

地域の皆さんに病院や医療について知ってもらおうと「こんにちは」冬号を発行しました。院内や市内の公共施設に置いてあるほか、病院ホームページからも見ることができます。

内容／●病院長挨拶(野村幸博病院長) ●医療最前線「臓器の病気」(内科：志村謙次医師、外科：富樫順一医師) ●やさしい医学講座「セカンドオピニオン」(副院長・総合患者支援センター：齊藤陽久医師) ●かかりつけ医を持ちましょう(海村医院本院：海村孝子先生) ●旭中央病院の人財(上野聖視能訓練士、竹枝莉斗視能訓練士) ●アクティビティレポート(訪問看護室：椎名明美主任看護師、熱田幸子看護師)

患者図書室「ほすびたるひろば～みんなの医療情報AからZまで～」を活用しよう

患者図書室は病気や治療法などについて学び、調べ、理解を深める手伝いをする場所です。病気や治療に関する解説や食事療法、栄養、検査、薬などに関する本、約840冊(平成30年10月1日現在)を所蔵しています。

資料は図書室内でのみ閲覧できますが、当院に入院中の患者には1冊2日間の貸し出しを行っています。

場所／1号館1階連絡通路横

開室日／月～金曜日 ※祝日を除く。

開室時間／入口掲示のカレンダーで確認してください。

